FRUiTS 11月号　通巻16号　1998年10月1日発行（毎月1回1日発行）平成10年8月28日第三種郵便物認可

FRUiTS

11
1998
フルーツ

No.16

500yen



contents



原宿 Free Style

セ→ラ→：byじゅん×2
スコ→トとブルマ：byじゅん×2
シューズ：NOSE
ファッションのポイント：セ→ラ→ム→ンひみこ
美容室：Wig♡
今ハマっている事：いさおラブ
好きな音楽：あにめソング
ひみひみ♡（17才）、正義の味方



㊀：〇一〜
館新宿八階 〇三〜三三五四〜〇一〇一
㊁：〇一〜ワン渋谷六階 〇三〜三四六四〜〇一〇一
※直通：〇三〜三七七〇〜六六九七
撮影



シャツ：HERE THERE
パンツ：1000yen PANTS
アクセサリー：ジムズイン、他いろいろそのへん
バッグ：PUTUMAYO
ファッションのポイント：さりげなくひょうひょうgirl
美容室：side-Burn
今ハマッている事：アロエ、デザイン
好きな音楽：ハイスタ
まきんこ（17才）、高校生



セーター：ちっさいときの
ワンピース：ふるぎ
ももひき：サンタモニカ
シューズ：むじるし
バッグ：キティちゃん
ゆびわ：MILK
ファッションのポイント：へんそう
美容室：ヅラ
今ハマッている事：プリクラ、カラオケ
好きな音楽：その日のきぶんで
あいあい♡（16才）、ギャル



——今すごく急いでるんです。



シャツ：クラブラブリーの記念Tシャツ
パンツ：自作（OVER DOZE）
シューズ：ユタのもの
アクセサリー：スペース.
バッグ：ラフォーレの地下
スカーフ：さやちゃんからのプレゼントで
ファッションのポイント：レイバーパンツ
美容室：GIRL LOVES BOY
今ハマッている事：おどること
好きな音楽：ハードハウス、ニューエナジー、トランス
ハマっこ（18才）、販売員

上着：egoist
パンツ：ギャルパン
シューズ：ひみちゅ（安いよう）
アクセサリー：自作、あき、ひろとかにもらった
バッグ：文化や
メガネ：ナシ
帽子：自作
ファッションのポイント：ピンクファイヤー
美容室：ガール ラブズ ボーイとじぶんとアイ
今ハマッている事：しかひろ
好きな音楽：スカコアいろいろ
かおりちん（18才）、専門学校生



シャツ：ビューティビースト
スカート：忘れました。
シューズ：ジェーン
ファッションのポイント：アダルトに
美容室：SOLARIS
今ハマッている事：就職最前線
好きな音楽：決めないでいろいろいいものきく
シルバーゆうこ（20才）、専門学校生



ワンピース：as know as（古着を破った）
シューズ：20471120
帽子：古着
ファッションのポイント：へんたい
美容室：友達
今ハマッている事：エロ
好きな音楽：メロアコ
らた（19才）、専門学校生



服：古着デス。
ファッションのポイント：ない。
美容室：BOY
今ハマッている事：読書
好きな音楽：311とか、ソニックユースとか
(22才)。画伯



パンツ：バイナリー
シューズ：バイナリー
アクセサリー：OVER DOZE
ファッションのポイント：レイバー
美容室：ヘブンス
今ハマッている事：GABBA
好きな音楽：GABBA
りょーいち（19才）、専門学校生

シューズ：バッファロー
アクセサリー：LOOP MASTAR
ファッションのポイント：ひまなひと
美容室：自分のお店の姉さん、にいさん
美容師インターン



パンツ：寅壱
シューズ：力王
ファッションのポイント：ニッカ
美容室：自前
今ハマッている事：アヴァンギャルド
好きな音楽：アヴァンギャルド
鬼健、荷揚人



上着：自元で（オズちゃんの）
ブラウス：自元で（オズちゃんの）
スカート：自元で（オズちゃんの）
シューズ：コーラクオ
帽子：自元で（オズちゃんの）
ファッションのポイント：カゼをひいているのであたたかく
美容室：オズちゃん
今ハマっている事：りょうくん
好きな音楽：JAM
ゆかり（18才），専門学校生



シャツ：文化屋雑貨
スカート：BETTY'S BLUE
シューズ：イエロー[illegible]ブ
バッグ：ヴィヴィアン・ウエストウッド
ファッションのポイント：[illegible]リおばさん
美容室：地元
今ハマっている事：原宿遊び
好きな音楽：JAM
アイ（18才）、販売

上着：スーパーラヴァーズ
パンツ：BETTY'S BLUE
バッグ：スーパーラヴァーズ
ファッションのポイント：なーんとなく
美容室：地元
今ハマっている事：頭いろいろ
好きな音楽：hide
マー（19才）、フリーター









Yamanouchi

私たち HB する。

"キレイ"の敵、ミネラル不足にHB。
カルシウムとマグネシウムが理想の比率
2:1でとれるヘルシーバランス新登場。

"キレイ"を磨く女の子にとって、睡眠不足や無理なダイエットはやっぱりマイナス。からだに必要なミネラルが不足気味になるから。そこで、ミネラルバランス美容食<ヘルシーバランス>。カルシウムとマグネシウムが2:1のベストバランスでとれ、鉄分もしっかり補給。ビスケットタイプで、おいしさもグー。ミネラルをきちんととって"キレイ"になる。女の子の新しいジョーシキだね。





ミネラルバランス美容食

HealthyBalance

ヘルシーバランス












53-01
PIAGGIO
世田谷区
2055



シャツ：古着
スカート：古着
シューズ：アンダーカバー
バッグ：大阪で
アクセサリー：グラマラス
ファッションのポイント：みんぞくチック
美容室：つけ毛
好きな音楽：コア系
アサミッチ（18才）、専門学校生



シャツ：インディーズブランド
パンツ：インディーズブランド
シューズ：プーマ
メガネ：スーパーラヴァーズ
モンキードラッカ（自作）
ファッションのポイント：帯×2ちん
美容室：地元
今ハマっている事：アクセ作り
好きな音楽：ジュディマリ、ロリータ18号
アキヨ



ワンピース：W&LT
シューズ：コージ クガ
ファッションのポイント：夏の終わりの花火大会
美容室：ReMix（自分）
今ハマッている事：友達ずくり
好きな音楽：テクノ、パンドラ
能本県出身の中村里香です（18才）、社会人



シャツ：ゴルチエ
パンツ：組曲
スカート：ジェーンマープル
バッグ：ゴルチエ
美容室：自分で
ハマっていること：Buck-Tick
好きな音楽：Buck-Tick
きいよ（22才）、会社員



上着：X-girl
スカート：コキュ
シューズ：トリッペン
バッグ：むかしの
ファッションのポイント：地味
美容室：やめちゃった店
今ハマッている事：バイトさがし（きのうやめた）
好きな音楽：たのしい
まるこ ひさみ（19才）、自由人



シャツ（上）：ショッキーから買ったもの。
シャツ（下）：AIR JAM
パンツ：地元のPARCO
シューズ：アディダス
指輪：ハンズ
ファッションのポイント：AIR JAM!？
美容室：じもと
今ハマッている事：指輪＆うでわ
好きな音楽：ハードコア、メロアコetc
まほ（17才）、高校生



セーター：ママのおさがり
スカート：古着
シューズ：大中
ファッションのポイント：キラキラエロ
美容室：友達
今ハマっている事：遠距離恋愛
好きな音楽：JUDY AND MARY
ゆっきぃ（18才），専門学校生



シャツ：ヒステリックグラマー
パンツ：ヒステリックグラマー
シューズ：プーマ
ファッションのポイント：シンプルにかっこよく
美容室：プレゼンス
今ハマッている事：スロット
好きな音楽：ロック
ヨウヘイ（19才）、大学生

上着：ミラクルウーマン
スカート：N.Yの古着
シューズ：ナイキ
バッグ：ストリートの出店
ベルト：古着屋
帽子：文化屋雑貨
ファッションのポイント：てきとう
美容室：PRESENCE
今ハマッている事：パチンコ
好きな音楽：ロック、ブラジル
RAN（26才）、美容師



シャツ：クラッチ
スカート：クラッチ
シューズ：コウジクガ
ファッションのポイント：背中がセクシーにみえるようにしたよ
今ハマッている事：おわらい
ユウコ（18才）



パンツ：オーバードズ
シューズ：ベリーボタン
ファッションのポイント：ドーザー
美容室：お母さん
今ハマッている事：ハピコア
好きな音楽：ハッピーハードコア、ガバ、トランス
みよちゃん（20才）、フリーター



Tシャツ：古着
パンツ：ステューシー
シューズ：NIKEエアモック
バンダナ：ハリウッドランチマーケット
ファッションのポイント：ストーンズのTシャツ
美容室：彼氏のたけちゃん
好きな音楽：ローリングストーンズ
まり（21才）、販売アルバイト



シャツ：ヒステリック ミニ
スカート：ベッティーズ ブルー
シューズ：ユニバース
ファッションのポイント：ピンクのコンバース
美容室：近くの床屋
シオリ（21才）



シャツ：ハイパーオンハイパー
スカート：古着
シューズ：ミホ
ファッションのポイント：￥3000でかったスカート
美容室：地元
今ハマッている事：ナナフシ（昆虫）
好きな音楽：ハードコア
みき（18才）、専門学校生



シャツ：フェトウス
パンツ：ヒアゼア
シューズ：？
バッグ：シン＆カンパニー
アクセサリー：20471120
メガネ：キディランドで
ファッションのポイント：サイバーなメイド
美容室：自分で
今ハマッている事：カメラ
好きな音楽：ロック＆パンク
そら（18才）、専門学校生



ワンピース：古着
ペチコート：古着
シューズ：わかんない
ファッションのポイント：白くてふわ2
美容室：カットモデル
今ハマッている事：ギターとゆずと人間観察
好きな音楽：ほのぼのしたの（スピッツ、ゆず）
まゆみ（20才）、大学生



シャツ：かりもの
美容室：バンブルアンドバンブル
（17才）、高校生



上着：卓矢エンジェル
シャツ：as know as
パンツ：卓矢エンジェル
シューズ：辻屋浅草本店
バッグ：卓矢エンジェル、BATSU、サンダーバニー
指輪：エンジェルで知り合った人から
ファッションのポイント：初エンジェラー全身♡
美容室：HEAVENS LINK
今ハマっている事：貴水博之！！ピンク色
好きな音楽：シンクビート、テクノサイバー、ロック
貴水*由希（15才）、高校生1





小室ゆかり
18才です

決して私の顔じゃないよ



ゆうきとゆかり



ゆかり　むっち　あ→ちゃん



Tokyo Disneyland

ふりゃまいった。朝からルンルン♡チケット買っていざ入場門さあチケット出して
入るぞ→が。突然Disneylandのお兄さんに私だけ止められた。何事と思っ
てたら女の人が来て「その服装じゃ入場できないので上に何か着るかメイ
クを落とすかして下さい」と言われたでもメイクは絶対に落とせない(落と
した方が入れないと思う)上に着る物なくて持っていない。どうしてこれじゃ
あいけないの?と聞くと「ショ→の方に間違われる可能性がありますし うちに
も イメージ があるので」と言われた。じゃあ何かい私が行くとイメージくずす
っていうのかいぷぷ「え→別に間違われてもいいですよ」って言ってダーリンと
2人でちょ→怒ってたら「ちょっと上の者呼んでまいりますので」って上の男の
人が来て女の人と横でコソコソ 少ししてから男の人が「今回はいいですけど
次回からはもう少しひかえめにして来て下さい。うちで今こういうキハッツなメ
イクをしてるので」と言われてブチぷぷ「普段のメイクです」そしたら「すみま
せん」ってみんなと別の入口から入れてもらった♡でもその後もまるで指
名手配の様にお姉さんもお兄さんも無線でコソコソ。でも1つだけ
いい事がパレードとかで目立つからシンデレラとかみんな手を振って
くれた→♡でも別な日にあいあいとヨ→コとはるなとゆうきとえみちゃんと
花やしきに行ったけど入れてもらえたよ♡



Tokyo Disneylandにて

こんばんわ
じいさん



空飛ぶドラエモン



パタパタ

りょー
(ダーリン作)



むっち　ハートめがね



たけじ (11°.1°) ゆかり

将来の夢

絶対にデザイナーになってやる!そのために今
東京モード学園で勉強中です。この場を
借りてお礼を言いたい人がいます。それは
お父さんとおばあちゃんです。無理言って
専門学校に行かせてくれてどうもあり
がとう。普段は素直にありがとうが言
えないので今言わせてもらいます。たくさ
ん感謝してます。ゆかりはがんばるか
らね。

ダーリン

一緒にいるとたくさん酸素がある。
こう見えてダーリンはまだ17才まだ
まだおこちゃまだけど2人で一緒
に大人になっていこうね。今度は2人
でフルーツ載りたいなあ





みい　ゆかり

お友達

とっても大切 みんないつもどうもありが
とう。私が一緒に住んでいる人でオズ
ちゃんという親友がいます。オズちゃんには
とっても感謝してる。オズちゃんがいなか
ったら夢は見つからなかったし今のゆかりは
いなかった。これからもみんな仲良しでい
ようね。

時代は変わっているのか?

何か最近やけに援助交際しない?って
おやじに聞かれるし、この前新宿でヌー
ドのモデルやりませんか?って言われた。えっ
なんでゆかりなの?ピンクだぜ。ピンク





服：すべて原宿にあるoverdozeというravershop
ファッションのポイント：N.Y.raver
美容室：自分
今ハマッている事：raver
好きな音楽：New Energy
さゆりん（21才）、大学生





聖✱浩二久我

浩二久我のニューショップオープン

洋服をスタートした浩二久我のニューショップがオープンした。ラフォーレ原宿につづいてのオープン。

渋谷パルコパート３　３F　03-3477-8849
新宿MARUIONE 03-3354-0101

株式会社イーボル　03-3847-0753

La NEUVIÉME TERRE ショップオープン

FRUiTSのNo.12でインタビューした田川聡くんのショップが、ラフォーレ原宿にオープンした。６ヶ月間の限定ショップでその後はニューヨークに行く予定。4.5階で、看板はないので注意してね。
TEL.03-3470-1181



La NEUVIÉME TERRE



"THE美容師ナイト"でエンクミLIVE決定

クラブイベントの"THE美容師ナイト"でエンクミ（遠藤久美子）のライブ決定。でもクラブイベントなので年令制限あるよ。
10月05日　at Yellow（20：00 start）TEL.03-3746-2368



The flutters of Angels ---天使の羽音---

７月20日にclub asiaで開催された、若手のたまごデザイナーたちのショー。美容室のACQUAが主催していて、これからも若手デザイナーたちにチャンスを与えられる場として、今後も開催していく。今回は４人をフィーチュアしていて、FRUiTSのNo.12でインタビューした"眠々"の本田君や、FRUiTSに何回か登場しているエミンコこと清水絵美ちゃんも４人の中に入っている。アキちゃんもモデルで登場していた。次回は11月予定。

[illegible]（仮） 清水絵美





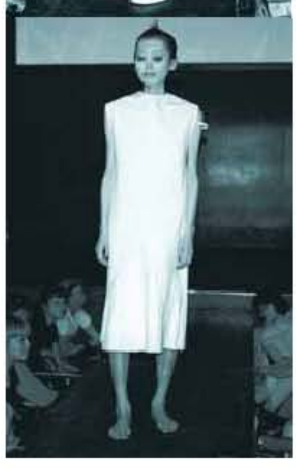
BLANK 須藤正





眠々 本田実





服姫スタヰル イチキチヨコ





前略お元気ですか？
㊙あきあき新聞㊙

こんにちは。あきです。お天気悪いっす。でもごきげん
鼻ピが紛失したためしてない今日この頃。何か、物足り
ないと言われ続け、かみっ毛も伸び、えりあしを、
いやらしく女らしくむすんでます。渋谷でナンパされ、
普通人になり町にとけこむのがねらいです。うそ。
バンドもかなり好調でメンバーも決まり、スタジオに、
入り練習してます。新曲は私自身の音域と、
歌唱力・センスで動かすアドリブとの戦いです。
もうすぐCDが出るのでぜひ聞いてやって下さい。
どこか（まだ未定）のCD屋さんに置く予定で、99分、
安いのでよろしくね♥来年はツアーも予定してます。
11月上旬に新宿JAMでライブします。動きまーす。

吉じょう寺。初めて行ってきた。卒コンの買い出しで、ろみ
と、ななと、かおりの4人で布みたり、かざり物
みたり、お花みたり、フリマみたり、イメージと違っ
て、けっこうアメ横チックだった。あやしいお店
でアイス食べておいしかった。今度は、飲みに
行きましょう。変なものも見つけて、又、買い物
しに吉じょう寺デビュー☺アクセサリーもいっぱい
買いたいな。カラオケも安いらしいよ。

最近買ったもの かなり楽ちんなことに気づいて、バンダナ
買って、まいてます。ヘッドホン、ぶっちぎれ
又、購入。ウォークマンは手ばなせない。あと、むげん堂
でキラキラ☆してる、お香たて。めっちゃかわいいの♡
スティックタイプの"ブラックラブ"（ネーミングあやしい）
がお気に入りの香り。あと、CD・レコード。その中でも
KORN©中谷美紀さん（すてき女性）超よかった。
とっころで、XARTS、レコード屋でよく目にするよ。
サンダーボール、Jamでやるよ。見に来ーい。さとし。

前回のフルーツ見ました？超笑った。ひでが、やっぱり
きこりって書いてた…。お前、めちゃめちゃ静岡
の、大学生じゃーん、じゃーん（かわいげ）たかも、
ハマってる事、かずって書いてるしさ、実際、かず
も半笑いでのってるし。くまちゃんといっしょ、こぶっ
早く、かずっぱる、ヘンプでアクセ作ってくれよ。
私の周りでは、かず職人から生まれるものは、
みんな⓵てるんだよ。私の身につけてる
サイコロも実は、かずからもらった。サイコロは、
いいぜぇ。ヘンプもいいぜぇ。いいじゃーん。

★ハード★こぶ作り名人★ラア







©手塚プロダクション



今月の写真プリクラ。最近、ピークアブーでモデルでカット・カラー
してもらいました。私も、もうかみっ毛のびのび、ボブボブ。
パーマも挑戦しよっかな。お姫さまのつもりが、マンガ顔
の私と、ねおきっぽいけみっちゃん。パンダにかこまれた
ななと私。私も料理班長になりたい。ボリューム4にて、
めぐっぺとチュー。アイメークは、もう、かかせないらしい。
今月もいそがしいけども、フンワリします。

☆来月号から新しい企画で1ページ頂くことになり、作品どりをのせます。せいご、れい
☆けいちゃん・まりえちゃん・本田くん・私で時間かけて作りあげたもので、要チェック!!
☆毎月お手紙ありがとう。バンド活動をがんばるのみです。では、また来月、会いましょう

長崎活発化だより

フルーツ系

・自分は長崎県の北部に住んでます。夏休みは、甲子園も見てドキドキしていました。横浜おめでとう。これは、青春ですよね。話かわって、自分は「町づくり」にとりくまなくてはいけないと思っています。自分の住んでいる町は、いなかです。その町で、ゆいいつの、フルーツ系の友達と、「ゆなろ」とか、作って道にならべてみました。ドキドキでした。2時間しても、売れなかったのがざんねんでした。ヤンキーが、ちょろ×2っと来て「がんばってねー」ってゆってくれたことだけが、うれしかったです。しかし、これではだめなんです。オシャレな町にしなくてはいけません。ギャル!?50%。ヤンキー40%。フルーツ系5%がんばります。話がかわり。みんなは、長崎について、何を思い浮かべますか？魚市場、ちゃんぽん、さだまさしなどですか？自分は、フルーツ読んでしったのですけど、VOLUMEの氏田さん、平戸出身だと知りビックリ!!でした。自分の町のとなりの海に浮かぶ島の人だったんですね。かっこいい〜〜。平戸大橋も、わたるのに、100円いらなくなったし、さいこー。夢がもてます。平戸はいいとこです。青島やたかし主のモンブし村もいいとこなので、かくれスポットです。ぜひ、来年、来て〜〜ね。おっけど、ゴミは、もってかえってね〜。

From ふうろ

F：長崎といえば、ちゃんぽんとからすみと…。…。がんばれ。せめて10%は欲しい。

FRUiTSさんへ

No.15から初めて買わせて頂きました。すっげぇためになったです。オシャレなんがたくさんいて、うれしくなっちゃたもん。だからこれからもFRUiTSさん。ヨロシクお願いします！お世話になります！えっとボクは将来イラストレーターになりたいんです。自分で絵本とか出して、色んな人に絵を見てもらいたいんです。けど、この頃、自分が本当は何をしたいのか、よくわからないというか、なんか不安でいっぱいなんです。だから不安をブッとばすために、絵の勉強をがんばってます。だからまだ不安を消したわけでないけど自分のわずかの可能性、もしかしたら才能なんてないかもわからない。けど、今やれる事をいっしょうけんめいやる事に決めました。これから先、何が待ってるかわかんない。だから、たのしいし、不安なのかも。けど夢はつぶさないでやるだけやってやるぞ！人生は成功だけではなりたたない。失敗はいくら経験したって小さい事、成功を1度でも手にする方がとっても大きくて、かけがえがないんだ。ただ、その1度を手にするためには、失敗や悔しさだとか、不安とかを乗り越え、つみかさねないといけないのサ。失敗はまちがいでない！成功への近道かな(笑)(恥) FROM ガクウエウ待ー

（千葉県　18才）

F：ホントにそうそう。今やれる事を一生懸命やるっていうのが一番。でもこれが難しいんだ、案外。めんどくさがっちゃいけないんですよね。

FRUiTS嬢♥

Lolita.

はじめまして。私、雑誌にお手紙出すのって初めてで、ちょっとドキ②だけど、FRUiTS嬢はなんか親近感わいてくる!! みに★フルーツのみんなのおたより読んでると、すごく共感するコトが多くて、ほっとします。FRUiTSにのってるコ見てると、心から、"ステキだな♥"って思えるの。なやみとかあっても、ちゃんとかかえてのりこえて生きてる、みたいな、思、不思議系のパワーメラメラ！ってカンジで。私は、なんでもcreateするのが大好きです。服づくりは最近からだけど、アクセとかこものとか小学生の頃からやってます。今は小説かいてます。自分を表現するのはたのしい。

また書きます。

・東京都・8ポ・フランソワーズ・13さい・中2

F：中2で小説家！

ちょっぴり相談なんですけど、私カレシがいるんです。その人ちょっぴり太めの体型なんです。で、オシャレする気はマンマンなんだけど、雑誌とか見てても、スリムな男のひとしかのってなくって、やっぱりそうゆう服あんまり着れないから参考にしにくいんです…。今でもオシャレな格好はしてるんだけど、スリムなひとと比べると、はんいがかぎられちゃう。一応ふたりでダイエットとかして頑張ってるんです。（←確実にやせてきてるけど、筋肉とかあってなかなかおちない。）どうすればいいんでしょう??? FROM★YUKI

（岐阜県　17才）

F：男の子なんだし筋肉なくさないほうがいいです。いやむしろ鍛えまくって強くなってもらった方が（船木みたいに）。

FRUiTSさん、こんにちは。私は高3で、将来、大物になるための準備をはじめました。私は特殊メイクアップアーチストになりたいのですが、お金の関係で専門学校に行けません。それに、働きながら学ぶということができません。友だちや親に「本気なら両立できるんじゃないの？」と言われました。でも私は卒業後は、就職してお金を貯めてからでも遅くはないと思ったので就職に決めました。大物になるには、ひとつのことを集中してやる方がいいと思いました。朝でも夜でも、そのことだけ（ってこともないけど…）考えていた方がいいと思った。私の選択は、まちがっているかもしれないけど、自分で決めたことだから大丈夫。話を聞いてくれてありがとう。FROM→福岡県民YACCO

F：時間はたくさんあるし。人それぞれの方法でいいと思う。

また出た

何か、FRUiTSのとなりに、FRUiTSと同じ大きさの、同じ内容の、SAMピーLINGってゆう、パッタもんあったよ。FRUiTSが最高やから、って言っいくら（で）も、マネをして雑誌作らんでもいいのにな一。安心してな、私はFRUiTSだけやから。な。な。

（京都府　まっつん）

F：うん、うん。もう何がなんだか。



頭カバー：いわいちえ
つなぎ：いわいちえ
シューズ：スキーぐつをかいぞう
美容室：宇宙パーマ屋
今ハマッている事：地球パトロール
セツコ（18才、未来人）
©CHIE IWAI 1998

F：ちえさん編集上カラー1ページは難しかった。

（大阪府　いわいちえ　20才）

こんにちわ♥通巻6号から今までをいとこ姉から[illegible]FRUiTS愛読者の18才です。私は公立高校に行ってるんだけれど、普通科でなくて音楽科に毎日通ってるよ。クラシックの中学からピアノをずっとがんばってて、習い始めたのは[illegible]がんばりまくって入学した。ピアノが好きだから。でもそれと同じくらいでもすごく服が好き。自分を表現するのが好き。♥幸せ♥楽しいの[illegible]だってことを[illegible]知ってもらって、いかも自分もまた自分を見つめれるから。でも最近ショックなことが起こってるの。まず学校で。学校はスカート丈[illegible]自由の[illegible]、自分の思うような服を着ていってた。[illegible]先生も[illegible]。気持ちは変わらないけど。[illegible]。なのに先生達はこう言った。「服装やピアスなどにそんなに気持ちが向くような人間は本当の音楽はつくれないよ」って。親も「服とくけどピアノには音楽や」[illegible]。泣いたら私泣いたの。泣くことしかできなかった。何も言えなかったのすごくくやしかった。"音楽なかったら生きてけない"って。でも私は音楽をするために好きな服を着て好きな人と好きな[illegible]。音楽の[illegible]も[illegible]にやって、まじで[illegible]って両立できないのかな。私は100%無理だっていうの。なんでなの……なんで……私はこれからピアノを[illegible]だろうと思う。でも好きな[illegible]。遊びにも[illegible]のか[illegible]分からない。自分がどこへ行くべきか。どうすべきか。お願いします。アドバイス下さい。 by.音楽みお 18才

F：色々な経験をして、物事に対するいろんな感じ方を学ばなければ音楽も表現できないと思うんですけど。先生の気に入るような弾き方をずっとしてるわけにもいかないしね。技術だけは完璧にして後は自分の正しいと思う道を進んでいいと思います。

（京都府）

FRUiTSへ

F R U i T S へ

FRUiTSさんへ

フルーツさん 僕は、このごろ
パンクにこりだしました。パンクってなんか強い
ということでさっそくギターはじめました。最初っから
GreenDay.やら HiSTANDARD
といったけっこうむつかしいのからはじめました。
この指、そう小指がぜーんぜん動きません!!!
みんな小指が動かなければ「ギターはひけんぞ」
といいます。そこのところどうでしょう。
P.S FRUiTSさんはギターひいたことありますか。

『フルーツさん LOVEより』

フルーツ LOVE LOVE LOVE × 1000000000000000000000000000

（福岡県　16才）

F：短いうえに非力だしねー。まったく手のかかる指だ。ギターはないけどヴァイオリンはある（笑）。やっぱり小指は甘やかさないできたえなきゃイカン。

ジャアア＋FRUiTSさま。

先日、テレビで、カッコよくなるために、目を整形した男の子について取材しているのを見ました。その子の親や、アナウンサーの人は「人は見た目じゃないんだから。」と言っていましたが、私はそこでカチンときました。大人って矛盾してる。「見た目じゃナイ。」って言うんだったら、なんで髪の色やピアスでブツブツ言うんだぁ？大人は見た目で判断してんやん。ちゃうかぁ？で、そのことを親に言うと、「最初は見た目しかわかんないでしょ。」って言うテニ。じゃ、整形してカッコよくなりたい、って思ってもいいんちゃん。で、「見た目じゃナイ。」って言うんだったら髪の色ごときでブツブツ言う大人、学校なんかFUCK！だーっ!! パーイ しばお。

（大阪府　16才）

FRUiTS様。

こんにちは。実は、なんだかイヤなものを見てしまいました。先日、朝日新聞に、「黒いエンジェル」を着ている女の子をとりあげた記事があったのですが、最後に、
「原宿の天使たちは、ファッション以外にとりあえず主張することがないことも事実のようだ」
って書いてあるんです!!!
それまでは、まあなんとなく、ホメてる（？）ようなコトも書いてあったけど、なんか、
「そんなことない!!!」って大声で叫びたいカンジです。
ファッションだけしか能がナイようなカンジで書かれてて、スゴイ腹立つです。
コノ記事を全国の人達が読んでるんだから、そのまま、「そうなのか〜」って思っちゃう人達がいたら、スゴク大変なんじゃないでしょうか!?
こんなんじゃ、原宿のホコ天復活なんて、絶望的です。だから、まず、大人の人達に、みんながマナーの悪い、センスがない子じゃないってことを伝えてあげてから、復活させてもらえるようにお願いしたほうがいいと思います。まず、伝えましょうよ!!!
とりあえず、ここまで。がんばりましょう!!。
オワリ 里菜 15才 より

青木さん こんにちは。
フルーツNo.7、No.13に載せていただいた松本かよです。
東京に来て（住んで）できた友人と話していて、
何かのきっかけで、フルーツの話になったので、
なんとなく、「そういえば、2004のコレクションのときのスナップに載っちゃったんだよー」って言ったら、友人が、
「どんなの？」って聞くので、「ウォルトのワンピース着てるやつ」と説明したら、「あのページ好きだったから、部屋にはってあったよ」と言うのです。しかも、引っこしの荷物の中に入れておいたらしく、ちゃんと今も持ってくれてました。
それで、最近、ラフォーレ前で指輪を売っている高校生と友達になりました。その中の1人の男のコが、その時、私の着ていたパイル オブ トラッシュの上着を見て、「その上着と同じの着てる人、フルーツにのってたでしょ。あれ見て、だいぶその上着欲しくて、パイル オブ トラッシュを探しまわったんだよ」と言っていました。
彼は、そのスナップが私だとは全然気付かずに言ったのですが、私はすごいびっくりしました。だって、まさか、私のスナップを見て、そんな風に思ったなんて、本当に驚きました。私は顔にこれといった特徴が無いので、町を歩いていて、知らない人に、「フルーツ載ってましたよね」と声をかけられることは、ほとんど、全く無いです。
だから、なんとなく話してて（上に書いた、男のコのときみたいに）私のスナップの話が出てくるときは、本当に驚きます。
相手が、そのスナップの人間が、私だと知らずに話してるんだから、なおさらです。
高校の頃は、地元が静岡の田舎のほうなので、みんな全く服に理解がなく、ウォルトなど、洋服のものを着ているだけでシノラーよばわり、知らない中学生に、すれ違いざまに、「センスわりー」と言われたり、ギャル好きの男のコには、「お前のしてるカッコって、いいの？（かっこいいの？）」などて言われていました。だから、私の服に対する感覚は、正しいのか、と、一瞬だけだけど、考えたりしました。その時は、早く東京に住みたいと思っていましたが、いざ、住んでみて、原宿など、行ってみると、逆に個性的な人が集まりすぎ、逆にそれが個性でなくなってしまっている様に見えてしまい、自分はどんな風に服を着るべきか、どうやって、衣服で自分を表現するべきか、すごく悩みました。
でも、少なくとも、2人は、私の知らないところで、私の着ていた服に目を留めてくれて、なにかを感じてくれたんだな、と思うと、今まで通り、着てみて、身につけてみて、なんとなく目に気持ち良くうつる服の着方、組合わせ方で自分を表現すれば良いと確認しました。自分の好きな様に服を着て、（ある意味、自己満足的な意味、自分の意見、考え方）それを他の人が気に入ってくれるというのは、うれしいし、すごいことでもあると思うのです。
長くなってしまいましたが、道を歩いている人を載せる雑誌として、フルーツの影響の大きさ、偉大さ。だいぶこれからもみんなの、感覚や感性を大切にしたスナップをとること頑張って下さい。 かよ（東京都）

F：載った人からその後の話を聞く機会ってなかなかないんですよね。へえーそうだったのかあーとこちらこそカンドーしてしまいました。ありがとう。

F：しばおさんの手紙−そうですよね。そもそも「人は見た目だけで判断するな」て言うべきです、きっと。だいぶ意味違いますよね。「見た目」は大切です。でも「見た目」だけで判断すると危険だ、と思うんです。

里菜さんの手紙−この記事読みました。新聞記者って無責任な人多いです。TVもです。FRUiTSも取材を受けて何回かイヤな思いしてます。そういう記者は自分の仕事の重要性と影響力を認識していない人だと思います。この場合「事実」って言っちゃいけないですよね。ちゃんと調べてるはずないし。こういう記者には自分の主張を持ってほしくないです。こういう記事には、ちゃんと投書したほうがイイのかも。



横浜高校の松坂君はすごかった。
ところで先日金沢に行きました。
天気が悪くて困ってたのでした。

イラスト（富山県　ノーマル妹　6才）

静岡県立韮山高等学校 宮嶋太郎こと
パンク純ちゃん 様様

パンク純ちゃんお元気ですか？ はじめまして、こんにちわ。
そしてFRUiTS、今読んでるみなさんこんにちわ。
なにをかくそうこの私はパンク純ちゃんのパンク魂アーンド すっばらしい!? 文章にひかれております。というか、ぶっちゃけて言っちゃうと、ス、ス、スキだあぁあっっ。
私はこの夏、パンク一色になったつもり（!?）です。
パンクが体に合う、というか何というか、ピストルズ（←サイコー♥♥）やクラッシュの音楽といい、服のセンスといい、クラクラきてますね。本当に。パンク純ちゃんはピストルズがスキだとしり、ふふふ。趣味（!?）すきなものがおんなじ♥ パンク純ちゃん、あなたに会いたいです。
あはは…でもきっと、FRUiTS読者にもパンク純ちゃんのとりこになった人がいるハズ!? パンク純ちゃんってすごくすごいこと言ってますよね。"ハダカの自分をみがく"なんて今どきかっこいい。キャーパンク純ちゃんさいこー♥
私もパンクいちみ（!?）となり、体じゅうを心の奥からきたえていこうと思います。さいごに私は男に生まれたかったです。そしたらパンク純ちゃんとしんゆーになれたかもしれないからです。神様はいじわるでした。
パンク純ちゃんおともだちになってくださいませ。FROM 熊本
（16才） ←シド かっこいーぞ♥



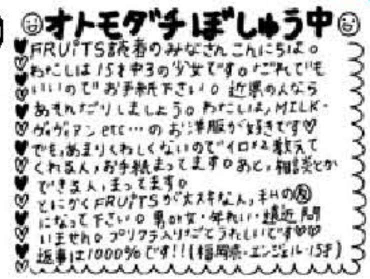
（群馬県）

F：ここ何年も海もプールも行ってない。私もまぶしいビキニギャル見たい。

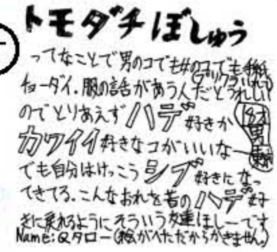
友達募集

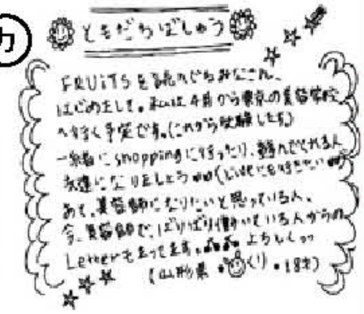
ア

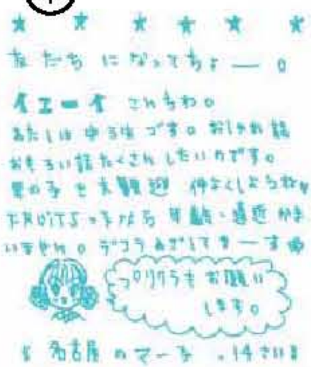

イ


ウ


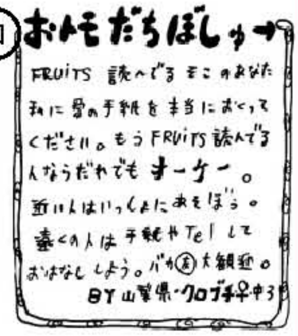
エ


オ


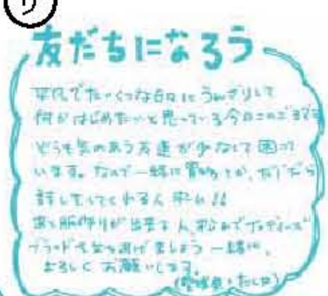
カ


キ


ケ


コ


ク


サ


シ


ス


セ


友達募集のコーナー
お申込みの方法

友達募集の人は、編集部あてのハガキに「友達コーナー」係と⑰を明記してください。
お手本

〒150-0021
東京都渋谷区恵比寿
西1-16-8-5F
ストリート編集室
「友達コーナー」係
⑰

→ ハガキの裏の半分に、友達募集のかんたんなメッセージやイラスト(○○県、ペンネーム、年令を入れてね。)を書いてください。
下半分には〒番号、住所、氏名、電話番号を必ず書いてください。
この部分は掲載しません。

友達募集！………
…………………
東京都.FRUiTS.18才

〒○○○-○○○○
住所、氏名、
TEL

→ 今月の友達募集の申込の〆切は、
10月1日必着(過ぎると無効になるぞ。)
抽選で決まります。

友達になりたい人は、編集部あてに「友達なりたい」係の、例えば⑯-㋐の○さんと明記してください。

〒150-0021
東京都渋谷区恵比寿
西1-16-8-5F
ストリート編集室
「友達なりたい」係
⑯-?-○○さん

なりたい人の〆切は、
10月22日必着
なるべくハガキで送ってください。(手紙の場合は定型サイズの封筒を使ってね。)

→ 1ヶ月後編集部でまとめて、友達募集した人にお届けします。少しめんどうな手続きになるけれど、安全で楽しい**交流**をしてほしいという編集部からの願いの表われですから。でも希望者が少なかったり、いなかったりしても悲しまないように。

注意！・募集は毎月、行います。毎回15人位掲載を予定しています。・例えば⑰と書いて、No.17に掲載されなかった場合、はずれです。ごめんなさい。また新たに応募してください。・あせらないでね。殺到するとそれだけ抽選ではずれる確率が高くなるぞ。
・必ずハガキで応募してください。(説明通りでないと無効になってしまいます。)・文字やイラストは黒のペンで書いてください。(印刷の都合上)

FRUiTS

アメリカからこんにちは。田中恭子(たなかきょうこ)といいます。今(夏休み)はカリフォルニアでホームステイをしています。生日本を知ってもらいたくて、FRUiTSをもってやってきました。アメリカでの生活はかなりたのしめなのですが、カリフォルニア付近にはFRUiTS系のヒトはほとんどいません。ステイ先の男の子(17才ぐらい)にFRUiTS見せたら、しばらく無言でパラパラみてて、無言で返されました。11才のどら元気な男の子にみせたら、「You are FRUiTS?」といわれて、なんかよくわかんなかったけど、(後から辞書で調べたらわかった)「WOW!」とか「COOL!」とかゆっていた。残り少ないアメリカ生活はFRUiTS国際進出に協力しようと思うしだいです。

☆福井県民、佐賀にまけるな。たちあがろう。
☆No.3からよんでますが、みんなの本音がよめるこのコーナー、より深くなってってだいすきです。
☆No.14のP29のチギラトモミさん、ほれました。
☆FRUiTSがあるのでやはり日本を愛してます。ジンも大好き。
☆ごろうへ:これが〇〇たらけっこんしよう。
☆はるかへ:ピンクパンサーがみつからない。
☆FRUiTS編集の方へ:手紙への1つ1つのコメントから、本気さがつたわってくる、それな栞誌をたーはじめてです。

(田中恭子(たなかきょうこ)、15才)



F:OH! FRUiTS国際化計画。無言で返すな。実は、FRUiTS外国の人にも評判良いです。みんな驚いたり、感動したりします(笑)。あ、ホメられちゃった?恐縮です。

DEAR ボンバーイエーなムギゾーさんえ。

こにちは。恋はいいですね。ムギゾーさん!ムギゾーさんの♡したお相手はギャルですか。ギャルは、毎日、新しい刺激♡を求めているので、話しかけてみる価値ありだと思いますヨ…。その時、大人数で話しかけまひょー!!! ケバケバのギャル達の好きそーな話を要チェック!!! して、いじゅうしてくれる関係になるのが天国への道ヨ。ムギゾーさんの文を読むと、CHO VERY VERY楽しそーなカンジだから、お相手のギャルさんも、好いてくれんじゃない?つきまとうんじゃなくって、フレンチ★な自分をアピール、アピール!! 自分に自信もって、磨いて、告ってみてくださいなっ! あたいはいつでもムギゾーさんを応援しちょるヨ! ガンバレ!!!



FROM はる
(埼玉県)

NO.14のももみちゃんへ

こんにちわ。ももみちゃんのお手紙を読んで私は少し涙が出てしまいました。私も高校生の時に同じような経験をしました。私は自らグループから抜けてひとりになったんだけど、やっぱりグループから抜けた理由も気の合う友達がいなかったし、グループでいてもお互いに行動を束縛しあっているような感じがイヤだったので抜けました。そしたらやっぱりイジメのようなものにあったりしてすごく苦痛でたまりませんでした。私はそのときは寮生活だったので学校でも寮でもそのグループの人たちの顔を見なければいけないので少しノイローゼぎみになって学校をやめました。私は結局カッコイイこと言って逃げてしまいましたが、ももみちゃん、今はすごく辛くてしょうがないけど、すごーく苦しんだ分だってすごーくイイコトがまってるんだと思うの。今、学校辞めたらすべてが水の泡になっちゃう。がんばってね。負けちゃイカン!!
FROM ☆さとみっちより。(北海道)

F:14号に載ったももみさんへの反響はすごかったです。
編集部はちょっと驚きました。それはいじめ、もしくはいじめに近い事の経験をしている人がすごく多いと感じたからです。なんでかなあ。どうしたらいいのかなあ。考えるようになりました。

FRUiTSの読者、編集の方へ

わたしの悩みを聞いて下さい。今、わたしはスゴク迷っています。進路についてです。わたしは、高校に行くか、高校専門学校に行くか、どっちにしたほうが自分にプラスになるのかがわかりません。うちはアマリ金持ちでナイので、ふつうの公立に行こうと思っていました。でも、わたしが服のことに興味を持っていたら、オクーサンは、専門の方に進んだ方がイイと言ってマシタ。最終的には、やっぱりどちらかに決めないといけナイので、アドバイスください。どちらの進路にしても、やりたいことがあって、今は、自分で決められません。どうか、良いアドバイスをください。
(イバラキ県・ワー助・14才(中3))

F:悩みますよね。決定は自分でしないといけません。じゃないと失敗して後悔した時はひとのせいにするからです。それはよくないです。それと、高校と専門、プラスとマイナスは同じだけあると思います。プー助さんはどちらにもやりたいことがあるのだったら、〆切の日の気分で選んじゃってもいいと思うんですよ。だって入ってみないとわからないから。どちらにもいいコトと後悔するコトは必ずあって、やりたいことをやるというプー助さんの意志こそ一番大事だと思う。

FRUiTS様 (eastern youthに入り浸り中の 15才)

No.14号のパンク娘ちゃん、すごいなあ、って思いました。やっぱり内面がかっこわるい人は何着てもかっこわるいって、その通りだと思います、私も。だから私も私なりに外見の自分を磨こうにもとしいう意味じゃなくて!)日々励んでます。~な年齢なので進路もそろそろ決めなきゃいけないんですけど、一生懸命悩んで迷って、ちゃんと自分の行きたいところに行けるように、頑張ります!!(自分は全然べんきょうしなかったので、今からでもやろうと燃えてます。)あと、神奈川のもももさん、少しとは思いますが、その分自分を見つめられると思います。周りにかまわずに、好きなようにできるし。逆境こそ楽しめ!!ですよ。(笑)最後に、岐阜、栃木の農家の人たちに頑張ってください。応援しています。やっぱり、自分の好きなことやれるって、すごいいいことだと思うんです。たとえ周りに変な目で見るヒトがいるとしても。そのヒトだって、自分の好きなようにやってるんだったら、相手の好きなようにやってることだって認めるべき何なんですよ。みなさん、ガンバってなんでも!!(笑)
(福島県)

FRUiTSを初めて買って、読んで、お手紙書いとります。
読んでいたらヒジョ→に気になる事がありました。
"学校に気のあう人がいない"とか"学校をやめたい人が多い"みたいだからです。これはFRUiTS初心者として何とかしないとと思いました。
僕は、フクシマの県立high schoolに通学ingな高校1年生男子です。
僕も"学校やめたい""学校に友達いない"で本当にこれでもかという程悩みました。僕の場合は、"人に何か言われてる感じがする"でした。
"何だそんな事か!!"と思った人とも多いと思うけど、こういう悩みは、その本人が一番つらいんですよね。それに一人で悩んじゃうと"悪い方へ悪い方へ"としか考えられなくなる。そして学校も休む。しかも、休んでて行きづらくなってまた休むそれのくり返し→。
僕は、さかのぼって小4のときは、かいきんしょう。小5~高1まで気に納得平均30日ぐらい休んでました。良からぬ事もしてしまいました。
でも今は、休まず毎朝行き、成績も上がり、友達もふえて、彼女もできた。
ではなぜ変われたか…? 自分の場合休む=逃げるだったのでした。
高校生にもなると考えもグレブっ変わったので、休んでる時自分を見つめなおせた。大きな夢を持った。部活(TEF陸上ブ)に熱中した。
こういう時って自分を見失う時です。自分に今必要なのは?できる事は?
自分は一点物なんだと考えた。夢をもった。目標を立てた。部活に打ちこんだ。走りまくった。ハードルとびまくった。スポーツしてる人たちは、明るい人が多いです。友達も信頼できます。つらいれんしゅうにたえたから少しの事でもがんばれる。
ハぞうもバクバク、ドキドキで生きてる感じでしたのでした。
最後僕から⑪つのアドバイス
①ピンチの時こそチャンスから打ち勝とう。②10人の友達より1人の親友(一生付き合える)
③何ごとも楽しんでやる ④この悩みは、神様からの課題と考えよう。
⑤ど→してもやめたかったら、次の人生をきちんと見すえてプランをたてる。
⑥人の意見もききまくる ⑦人の痛みも知ろ→う。!!
⑧自分より大変な人もたくさんいるんだと考える ⑨親にかんしゃ
⑩とりあえずFRUiTSを買う ⑪僕をそうぞうする。
以上僕の考えでした。
H.8.8.15 18:30~ FROM フクシマの てっち T28より

F:10は大切。11はどうだろう。うそ(笑)。

聖★浩二久我

久我浩二

koji kuga

ＦＲ　今度洋服を始めたんですよね。ずっと靴を作っていて、洋服を始めようと思ったのはいつごろなんですか。

久我　そうですね、基本的には以前から思ってはいたんです。ちょうどその時期が来たかなと、タイミングというんですかね。

ＦＲ　それは市場のタイミングですか、自分のタイミングですか？

久我　自分もそうですし、市場もそうです。ちょうどデザイナーの方々がひととおり出きったというか、最終戦ぐらいに出て行ったらちょうどいいかなという感じなのと、世紀末ということもあるので。当然僕のあとにも何人か出て来ると思うんですけど、その一つのかけ橋といいますかね、皮切りになれるのがいいんじゃないかなと。その辺のタイミングを見計らってたこともあるんです。自分で会社を作ったので、すべてやりやすくなったということもあります。

ＦＲ　会社を作ってからは１年程ですか？

久我　そうですね、１年半。

ＦＲ　洋服の企画はいつ頃から準備してたんですか？

久我　企画は半年前からですね。

ＦＲ　半年で製品までできるんですね。服のアイデアは以前から持ってたということですか？

久我　これはいいんじゃないかなって以前から着目していた素材のアイデアがあって。それと日常の中で洋服をマーケティングしていくと、足りないところっていっぱいあるんですよね。確かにヨーロッパのものもひととおり入ってきて、アメリカのものもいっぱい入ってくるんですけど、ちょっと足りないところというのがある。その辺を僕なりに形にできないかなということがあって。それプラス、靴だけを作っていますと、どうしても市場の洋服の流れを無視できない。僕が作った靴なんですけど、だれかが作った服に合わせて靴を作っていかなきゃいけないということもあって、どうしてもある種のコピーとか、マーケティングを中心にした考え方から脱しきれないんですね。そこから脱皮したいというのが一番の大きな夢というか、自分の中での一つのボーダーラインになってましたので、それをどう解いていくかというのが非常に鍵だったんです。洋服というのは体の全体像を包むものなので、それを作ることによって、さらにクリエイティブな発想で靴を作っていくことが可能になるかなということもあったんです。

ＦＲ　久我さんの靴の場合は、服のマーケットに合わせた靴のデザインというよりも、先に靴があるという感じですけど。

久我　確かにそういう部分もありますね。底の厚いものの場合、視覚がちょっと高くなることによって、精神に与える作用がちょっと違うんじゃないかというのと、足が長く見えることによって、日本の女性にとっての一つのコンプレックスを排除していく。洋服からのマーケティングとは違うマーケティングの発想が、きちんとされた商品だったので、確かに洋服を超えてた部分はあると思うんですけど。ただ、現実には、デザインを１００点とか作っていく中では、どうしても洋服の流れの主流に合うものが中心になっていっちゃうということがありますね。やはり大きな流れをくんで、そこに対して、今若い人たちはこういうもの

スタッフ募集

・**編集スタッフ**
雑誌編集経験者で、デザインのセンスの良い人で、DTPができる人。

・**営業スタッフ**
雑誌の広告営業の経験者。

・**事務スタッフ**
事務的な能力があって、英語がネイティブな人。

※応募方法／履歴書と応募分野についての経歴と能力を詳しく書いて送ってください。
※30才未満、男女学歴不問。
※かなり狭い門になると思いますが、自信のある人は応募してみてください。

ストリート編集室　〒150-0021東京都渋谷区恵比寿西1-16-8-5F

Q&A

Q：No.13の自己紹介の林くりちゃんの行っている、制服のない自由な高校ってどこの高校ですか？
A：東京・吉祥寺の明星学園です。

Q：No.14のヒメマルカツオブシ虫さんが履いている木靴はどこで買えるんですか？
A：長崎に行ったときに買ったそうです。他にどこで売ってるのかは不明です。

Q：No.14-p6のマサルさんがかけている、黄色のメガネのメーカーを教えて下さい。
A：メーカー名は書いてないみたいです。でも最近はいろんなところで売ってるから、もう見つけてますよね、きっと。ちょっとサイバーちっくな雑貨屋さんによくありますよ。

注意

FRUiTSのカメラマンの偽物が出ています。大阪・アメリカ村の三角公園でも被害にあったという報告もありました。近くの事務所に連れて行かれて写真を撮られたそうです。変なことはなかったみたいですけど。注意してくださいね。他に、京都と浦和からも報告がありました。対策を考えますが、それまではみんな気をつけて下さい。
FRUiTSのカメラマンは今は青木だけです。でも京都の偽物は青木の名前をかたっているようです。FRUiTSのカメラマンは、ほとんどの場合は声をかけたその場で撮ります。そこが暗かったり、人通りが多すぎて撮れない場合には少し移動してもらうこともありますが、遠くても20mくらいです。遠くに連れていったり、人のいない所に連れて行ったり、事務所に連れていったり、お茶をさそったりはしません。そんなことをする人は、どんな場合でも要注意です。（京都の場合は、高い階段に連れていって、そこに座らせたりしたそうです。）
それと、FRUiTSに載せてあげるとか言って近寄る人は全て嘘です。（浦和の場合がこれ）
これは危険な犯罪行為ですので、もし遭遇したら、FRUiTS編集室と警察に連絡してください。
青木の風ぼうを教えます。ヒゲぼうぼうです。髪は黒で、基本的に立ってます。背は高いほうで180センチくらいです。42才ですが、若く見えます。だいたいGパンにスニーカーです。顔写真を載せたくないんですけど、しかたがないのでちょっと載せます。先日金沢に行ったときに、何人かに分っかちゃったみたいで、声をかけられました。あの写真で分っかちゃうか？ちょっとショック。あの写真はちょっとって何人かに言われたので、今回は写真を替えました。



大阪行ったよ。9月6日に「原宿ホコ天返してください」T-シャツを配るっていう葉書がきてたから。でも着いたのが3時で、しかも雨だったのでもういなかったみたい。ホコ天のない原宿よりアメ村のほうが楽しいかも。雨っぽい天気にもかかわらずアメ村は元気だった。やっぱり三角公園の存在は大きいよね。それと大阪の人はコミュニケーションが上手いなぁ。近くの交番の警官ともけっこううまくやってるみたいだし、ビックステップのうるさい警備員にも色々注意されながらも、一緒に遊びに行ったりしてるみたいだし。それに比べると東京の人はあまりコミュニケーションをしないからね。取材のときにはそれが助かるんだけど。でも近所の人とか警官とかとは上手くコミュニケーションできないから。いま原宿で、路上で手作りアクセサリーとか古着を売ったりすると警察がすごくうるさいし、遊歩道では近所の人が道に水をまいちゃうし。ホコ天にたむろできなくなって、今ラフォーレ前にたむろしてるけど、やりすぎるとさすがのラフォーレもいやがるかもよ。ホコ天がなくなることが引き金になって、4、5年前の寒い原宿がまたやってくると大変だよ。みんなはほとんど知らないだろうけど、ほんと4、5年前の原宿は寒くなっちゃってたんだよね。ラフォーレとかがずいぶん頑張って熱い原宿を取り戻したと思ってるんだけど。またあああなる危険性を原宿の人はどう考えてるんだろう。東京は大人もコミュニケーションが下手なんだよな。やんなっちゃうな。大事にしようぜ、原宿。と言っても大人はこれ読まないか。

アオキ

いければいいんですが、どうしても業界的にロットの問題とかがあって、それをこなすためには売れなきゃいけないという前提が、大きいものですから。靴の場合は、非常に工業製品なんですよ。ですから洋服のようにアートからとらえる部分よりも、工業製品として、必ず作った分だけは売れなきゃいけない。売れないと採算が合わないですから。どうしてもそこを抜け出したいこともあったんですね。また、時代が、バブルが崩壊して、ただの工業製品というのはもう駄目になっていってるというのは自分でもわかってたので。それを変えていかなきゃいけないというところで、ちょうどタイミング良くそういう形ができたかなと思ってるんですよ。

FR　パタンナーとかはどうしてるんですか。

久我　経験者を2人雇って。パターンが非常に重要ですね。命ですね、デザイン以上に。素材とパターンで大体決まりかな。デザインに関しては、過去の紐（ひも）をどう解（ほど）いていくか、もしくは過去にあったものにどう付け加えて進化させていくかというところだと思うんです。あとは今の時代に合うものにどう変えていくか。それはアナログの部分で、デジタルな部分の、ストレッチ素材とかハイテク素材とかに関してはまた違うと思うんですけど。

FR　過去っていうと例えば何かあります？

久我　過去というのはあくまで、データという見方になりますよね。良いものは過去のものも現在に残ってると思いますし、悪いものはなくなっていってる。良いものというのは、それなりに進化して残ってるというふうに僕はとらえてるので。ですから、年代的にこの年代が良いとか悪いとかというのはないと思ってるんです。例えばパンクであるとか、そういうものも、違う方向というか、次の時代に向かっていくかなというふうに感じますので。これからそれを、僕らもそうですし、「FRUiTS」の読者の子たちも、どう表現していくかということが重要かなと思います。

FR　日本のファッション教育って、久我さんが言ったような過去を土台にするみたいなところがちょっと欠けてるような気がするんですよね。新しいものを作っていく、何か個性的なものを作っていくという、土台のない所から始めてるような気がして。けっこう、僕のお気に入りの有名デザイナーとかって、過去の、例えば中世からとか、長い洋服の歴史の中から、良いものがあれば持ってくるし、参考にしてるんですよね。ヴィヴィアンなんかもそうですよね。だから、本当のゼロから作っていくというのがクリエイティブだということではないと思ってるんですよ。久我さんが過去を紐とくって言ったのが興味深かったんです。

久我　変な話ですけど、ゼロから作るということは、過去の人たちは全部やってきちゃってるんで、僕らの世代では非常に難しいと思いますね。過去のものを紐といていきながら、大事なのはその心ですよね。過去の人たちがなぜそういうものを作ったのか。その心にあるものをどう進化させていくかということだと思うんです。心の状態は変わってないと思うんです

を絶対欲してるとか、こういう新しい機能が絶対ベターなんじゃないかとか。

FR　着目していた洋服の素材のアイデアっていうのは？

久我　帆布なんですけどね。もともとは靴の裏側に使ったりとか、いわゆるズックとか、キャンバスという生地なんですけど。シューズの中ではかなり多く使われてる素材だったんです。過去を探っていきますと軍服とかにも使われてる素材で、当初は工業用の製品として開発された素材だと思うんです。僕は以前から、今の日本の生活、ライフスタイルに非常に良い素材だなと思ってたんです。

FR　どういうことですか？

久我　ジーンズというアイテムがアメリカからどんどん入ってきて、まっとうな素材ではあるんですが、やはり日本文化の中でジーンズでは合わない場所が非常に多いんですよね。例えば寿司屋であったり、そば屋であったり。これはちょっとどうなのかなと。無印良品が出てきた時に「この洋服だったら寿司屋にも合うし、そば屋にも合うな。すごく文化を大事にしてるな」って感じたんです。今のクリエイターの人たちを見たときにどうかなというと、できてる人はすごくできてたんですね。日本の文化をきちっと服の中に取り込んでるという感じがしたんですね。この帆布はそこにもすごく合う素材だと感じたので。僕はジーパンは大好きで、当時から「５０１」も好きでしたし、「ダブルＸ」であるとか、そういうものにも興味あったんですけど、ファッションとして見たときに合わない所が多いんですね。もうちょっとしゃれた感覚が持てないかなというふうに思っていたんです。

FR　服の構造とかありますよね。そういう勉強もしたんですか。

久我　そうですね、それはもうずっと前から、今の日本の男性の平均的なサイズですとか、例えば、構造学的にこういうバランスが良いんじゃないかとか。靴も同じで、日本人の足のデータってありますから。それと一緒で、ある程度のデータは集めて。その中から服作りをして。縫製に関しても、ジーンズを縫うんだったらこういう所が良いんじゃないかとか、僕らなりの最低の知識を身につけて。それでもやっぱりまだ失敗は多いですね、現実は。

FR　半年間で立ち上げるって最速じゃないですか。

久我　そうですね。急に思い付いてというか。一つは九州のお店がきっかけにはなってるんですけどね。あそこのお店を作ったことによって、やっと新しい道が切り開けたかなと。路面のお店というのは、そういう新しいエネルギーを生み出してくれますね。

FR　今年の初めに、秋冬物の企画をしていたことになりますよね。でも、シーズンものなので、ちょっとずれちゃうと1年ずれちゃいますよね。

久我　そうですね。でも思ったんですけど、僕は単純な人間なんで、多分僕が思ってることというのは、もう既に同じことを思ってる人はいっぱいいると思うんですよ。日本にはセンスの良い人がいっぱいいますから。だから思った瞬間に行動に移していかないと、もうどこかで同じこと思ってる人がいると思うんですよ。良いなと思うものは、ほとんど出てきちゃうので、やっぱりスピードも大事かなと思うんです。ソニーのフラット画面のテレビでも、ソニーがやらなければ他から1年後とかにできてきちゃうと思うんですよ。そういうスピードが重要なんじゃないかなって。

なんで今さら洋服を作るのかなって言う人もいるんですよ。洋服はいっぱいあふれてますからね。でも僕なりに細かいマーケティングをして、まだまだ足りないものがあるなと、物はあふれてるんだけど、非常に足りないものがあるなと思うので。

FR　ビジネス的には靴で十分ですよね。普通に考えて、新しいリスクに入っていく必要なんかないですよね。

久我　靴のビジネスをより一層やりやすくするため、もしくは活性化させるために、すごく重要だったかなというふうに思ってるんですけどね。それと、靴のデザイナーだけだと、どうしてもアーティストとしての評価が少ない。うちの三原くんみたいなやり方をして

人に評価していただかないと物事が動かないのと、それを消化できる売り場を持っていないといけないということもありますから。そういうやり方じゃなく、製品を手で作り始めてる若い子たちもいると思うんですけど、そういうやり方だと結果的には続いていかないんじゃないかなと思ってるんです。これは靴の歴史のあるイギリスやアメリカでも、結果的にそういうやり方をしてる所というのは残ってないので。若い人たちの、学生のときのパフォーマンスとしては非常に重要だと思うんですけどね。彼らを野ざらしにしておくんじゃなくて、僕らみたいな会社できっと工業化して、工業製品として市場に出していくことが重要かなというふうには思いますけどね。

ＦＲ　久我さんは厚底の靴の前はどういう靴を作ってたんですか？

久我　どっちかというとモード系の、アバンギャルドな靴をいっぱい作ってましたね。当時「ベッキアボルベ」っていうブランドのデザインをしてましたので。いわゆるバブルのころの、デザイナーズブランド隆盛のころの服に合った靴を作ってましたね。ですから今の「１０９」なんかで売れてる厚パンのはしりをやってましたね。当時から厚いものはよく作ってたということになりますね。ただ、そのころ作ってたのは、エレガントな靴の厚いもので、当時のドラッグクイーンのはしりとか、その辺のイメージのもの。イギリス側のヴィヴィアン・ウエストウッドに対して、僕らはアメリカでも「ナイキ」とかそういう黒人ベースのものではなくて、どっちかというと病んじゃった人たちの、ドラッグクイーンなんかのベースのものを日本に取り込んで。日本でのジャンポールゴルチエの一大ムーブメントの中で、靴として僕らが作ったものが合っていったかなという感じはあったんですけどね。

ＦＲ　靴の業界に入られたのはいつごろなんですか。

久我　今から１４年程前になるんですけどね。

ＦＲ　いくつの時ですか？

久我　１８才です。

ＦＲ　それまでは学生だったんですか？

久我　その時も大学生だったんです。どっちかというと、すっきりとしたというか、パンクとかの派手な感じじゃなくて、ビームスファッションみたいな感じだったったんですけど。その中でも、ちょっと病んじゃってる世界の人たちに非常に興味があったので、買う買わないは別として、その辺の商品が好きな青年でした。

ＦＲ　大学１年生のころですよね。

久我　そのころに、靴屋さんでアルバイトを始めて、それがきっかけになって今があるんです。

ＦＲ　でもその間ってずいぶんギャップがありますよね。お店の店員から、靴を作っていくって。

久我　そうですね。最初に勤めた会社が、バブルの影響で倒産して。その後、今「バーコード」を作ってるサントロペという会社に勤めて。そこから独立というかたちなんです。どちらかというと今の厚底のものも「バーコード」時代からの流れなので、かなり長い感じになっちゃってるんですよね。

ＦＲ　でも、他にもいろいろ作ってらっしゃいますよね。

よ。戦争がなくなったりとか、社会は変わっていくとは思うんですけど、人を愛する気持ちとか、初めて会った人でも好きになっちゃったりとかという、心の一番ベースの部分って変わらない。洋服でも見た瞬間に、「良いな」、「可愛いな」とか「これ嫌い」とかというのは心の状態で、それは変わらないと思うので、そこの部分をどう紐といていくかというのが重要だと思うんです。

ＦＲ　靴でも考え方は同じですか？

久我　同じですね。

ＦＲ　久我さんがいきなり出てきたのは、あのソールの高い靴でしたよね。あれはいきなり出てきたという感じでしたけど。ヴィヴィアンが厚底を作ってたというのはありましたけど。

久我　ヴィヴィアン・ウエストウッドの場合は、ヴィヴィアンのトータル的なイメージが非常に強かったと思うんです。僕らの場合はもうちょっとカジュアルで、今のストリートの流れの中での自己主張的なところだと思うんです。ゴムという履きやすさと、今の社会で心が病んじゃってる部分を靴の中で表現できないかなって思ったんです。結果的にうまく形になったなと思います。本当に大ヒット商品であるとは思うんですけど。９０年代中盤の社会が病んできた部分と、高いポジションから見るというナルシスト的な部分と、兼ね合ってるなというふうには思ってるんです。

ＦＲ　あれは歩くのは大変なんですか？

久我　そうですね、ちょっと重さがありますので大変なんですけど。自分の体を高くするというのは日本人の歴史の中にあるんですね、下駄（げた）であるとか、花魁（おいらん）の履物であるとか。日本だけじゃなくて海外でもそういう靴があるんです。１３００年代、１４００年代に。僕が初めてということじゃなくて。人間には、自分を高くした所からものを見る快感があると思うんですよ。東京タワーの上から見るのと比べると、ほんのちょっとなんですけどね。普段の視線と違うというのが非常に重要なんじゃないかな。それは洋服屋さんではできなかったことだと思うんです。靴屋さんならではのことだったと思います。

ＦＲ　花魁（おいらん）って面白いですよね。わざと歩きにくくして。歩きにくいところが変なセクシーな感覚なんですよね、きっと。

久我　拘束された。

ＦＲ　走って逃げられないぞみたいな（笑）。

ＦＲ　靴のほうは「浩二久我」っていうデザイナーブランドですよね。靴でそういうデザイナーブランドってあまりなかったですよね。

久我　日本ではそうですね。海外ではいっぱいいらっしゃいますけどね。２０世紀では本当に少ない。日本で、靴をこんなに履き出したというのはこの３０年程ですから、そういう意味では少なくて当然だと思うんですけどね。

ＦＲ　デザイナー個人が会社を起こして、靴のメーカーをやっていくというやり方は、やりにくい業界だったんですか。

久我　そうですね、やっぱり非常に難しい部分がありますね。例えば1足とか、１０足とかという単位では物事が何も進まないんですよ。それと一つ一つのものが非常にコストがかかる。生産の仕組みが、人間の手よりも機械の部分が７割ぐらいを占めてる。縫製と底をくっつける作業には人間の手が要るんですけど、そこまでの段階はどう機械を扱うかということなので。車と同じような工業製品的な部分が非常に強いんです。だから、オートクチュールなんていうのは難しくて、大量生産型商品なんです。だから企画をきちっとやらないと市場に出せない。そういうメーカーになっていくというのはなかなか難しいですね。自分がこうやっていられるのは消費者の方々に支えられてるからです。これは持って生まれた運命なのかなと思いますね。自分が頑張ったからということじゃなくて、何か世の中に要求されてる部分もあったのかなと感じるんですけど。

ＦＲ　最低ロットでどれぐらい考えないと話にならないんですか？

久我　一般的に言うと、２００から３００の足数がないと、物事が動いていかないですね。一つのデザインを２００人から３００人の

なんていうのは最低これだけのロットが開発に必要であるとか。どんどんそういうふうになってると思うんです。それを開発した所が、一気にがーんと躍進してしまうみたいなところあると思います。

FR　ストレッチブーツのブームとかも何かあったんですか、そういう素材のきっかけ。

久我　あれの日本の商品というのは、海外のもののコピーですね。非常にボディーをきれいに見せるということで、世界中で売れた商品ですよね。ただ、外国製のものが日本の消費に対応できなかったということで、日本のメーカーがどんどん真似て作っちゃったという現状じゃないですかね。

FR　靴のメーカーはコピーが激しいですよね。

久我　ブランドとして認知されているメーカーが少ないので、どうしてもコピーがいっぱい出てきてしまいますね。それと一店舗に一ブランドという形の小売店さんが非常に少ないですから。まだまだそういう環境なのかなと思うんです。ただ、ＦＲＵｉＴＳみたいな雑誌が出てきて、ノーブランド時代といいますか、消費者はきちっとした目で自分の欲しいものを見極めていく時代が来たかなと思うんです。僕らも「コージ・クガ」なんて名前を付けてますけどね。
これからは非常に厳しい時代が来るんじゃないかなと思ってますね。それは作り手の方だけでなく、マスコミのほうも、今までのようにイージーなだけでは消費が付いていかないんじゃないかなと思います。ＦＲＵｉＴＳの子たちが、そういう時代に向けてのセンスを身につけてる感じはしますね。
実は、僕は１０年前に、この靴業界のそこに着目したんですよ。洋服というのは、８０年代にデザイナーズブランドやキャラクターブランドがいっぱい出てきて、すごくブランド化されていたんですよ。ところが靴にはないんですよ。
「卑弥呼」とか「モード・エ・ジャコモ」グループぐらいしかなくて。海外のものも非常に少なかったんですよ。「ドクターマーチン」とか、数えられる程で。それでも世の中のいろんな靴が売れてるんですね。みんなが「リーガル」を履いてるのかなというとそうでもないし。学校の中でも非常にばらけてる。ブランドでものを買うんじゃなくて、みんなが特化したところで、自分の感性で選んでる。「ああ、良い業界だな」というふうに思ったんです。それがいまだに継続されてる業界なので、逆にそこが非常に面白いんです。
今のファッション全体の流れで、洋服もそっちのほうに行くんじゃないかなって、１０年前から思ってるんです。ブランド化していくのではなくて、商品がすごく大事なんだよという方向に。最低の知名度というのは必要だと思うんですけど。ただ、知名度のある所のものだけが売れるんじゃなくて、知名度のない所でも、良いものがあったときには、問題なく売れるという世の中になっていくかなという感じはしますね。たとえば、雑誌に載ってるものがすべて良いというのじゃない価値観が作られていく。ＦＲＵｉＴＳも非常に重要だなと思ってます。直接的じゃなくて間接的に写真でそれを表現していて、今のマスコミの中で特

久我　僕はデザイナー肌というよりも、どちらかというとプロデューサー的なんです。こういうコンセプトで商品を開発しようとか、改革しようとかって、一歩離れた所からものを見ながら、そこにデザインをどう取り込んでいくかというような考えで動いてきてるんです。

FR　靴を作るときは、いろんな職人さんの所に行ったり、自分の手を使ったりはしないんですか？

久我　木型ですとか、型紙、パターンを取るのは、数値データを基にしてますので、自分たちでやります。ただ、そこから先は工場に全部委託をして流していってしまうんです。

FR　その辺は倒産しちゃった最初の会社で学んだんですか？

久我　全部勉強しましたね。最初の5年程は何も分からないで作ってたんですよね。今思うとひどいですよね。底はすぐに減っちゃうわ、すぐ壊れちゃうぐらいの勢いの靴を平気で市場に出しちゃってたっていうことも、正直言ってあったし。現実、今の日本のメーカーの中にまだまだそういう所もいっぱいあって、これが非常に問題になってくるかなと思うんですけどね。日本の製品に信用がない部分、海外商品の「ナイキ」であるとか「ビルケンシュトック」であるとかの信用につながってると思うんです。ここが非常に問題かなというふうに思ってますけどね。

FR　減らない底とか、壊れない靴を作るのは難しいんですか？それとも良心の問題？

久我　難しくはないんですけど、僕はそこに目を向けていくことが非常に重要だと思うんです。「減らない」とか「底がはがれない」とか。「持ちがいい」っていうことは非常に重要だと思うんです。今まではそれよりもデザインとかに皆さんもメーカー自体も目を向けていたと思うんですけど、その辺の価値観が非常に変わってきてるんじゃないかと思うんです。

FR　革靴の底とかカカトってすぐ減っちゃいますでしょう。嫌になっちゃうんですよね、替えるの。

久我　正直言って、以前みたいな革底が良いという概念というのはもうすっかりなくなってると思いますね。

FR　「ナイキ」のスニーカーとかのカカトって、なかなか減らないですよね。不思議だなと思って。昔の運動靴って、すぐ減っちゃいましたよね。

久我　モールドソールっていって、「ナイキ」が開発した堅底というのは非常によくできてますよね。

FR　そうなんだ。素材とかも違うんですか？

久我　素材選びがすごく良いですね。

FR　やろうと思ってもやれないこともあるんですか？

久我　非常にリスクが大きいですね。底の型を作る段階で、最低5千足は生産しなきゃいけないとか。例えば映画だと「タイタニック」を作る時に製作費が何百億かかるというのは最初に決定するわけですよ。ということは、これだけの人数を入れなければ採算が合いませんよというのが最初に決定しているわけですよ。靴の業界もそういうところがあって、このデザインをするためには最低これだけ売れないと、というところがつきまとってくるわけで。それを「ナイキ」なんかはうまくやってきたんでしょうね。非常にリスクのあるデザインを。どうしても僕らの今までのデザインというのは、最初にそういうアメリカ的な発想ができてないですから。手で作れる範囲のもの、非常にアナログ的なものが多くなっちゃうんですよね。底一つとってみても、手で加工してできるものにしようよと。ある種リスクの回避になるわけなんですけど。

FR　素材も限られてきちゃうということなんですか。

久我　底材も限られてきちゃうということですね。ですから、今その辺を、打破していこうという動きなんじゃないですかね。ビデオでもカメラでも、みんなそういうリスクがあって製造してるわけですよね。洋服とか靴とかは、あまりそのリスクを負わないでもできる仕事だったんですけど、それでもやっぱりリスクが付きまとうようになってきましたね。どんどん競争が激しくなってきているということなんでしょうかね。

洋服でもそういう現象が出てきてると思いますよ。ストレッチ素材



シャツ：古着
スカート：LOVE BOAT
パンツ：古着
シューズ：pinks
アクセサリー：チチカカ
ファッションのポイント：ない
美容室：アクア
今ハマッている事：バイト
好きな音楽：なんでも
亜紗（18才）、専門学校生

ファッションのポイント：秋へgo-，普通なカンジ
美容室：自分でカット
今ハマッている事：買い物（店めぐり）
好きな音楽：Hip Hop、パンク
（19才）、販売員

化した動きをしていて、僕のコンセプトにも最初から合っているんです。名前で売っていっちゃうことは簡単ですから。そうじゃない部分をきちんと見つめていかないと、と思いますね。ものを作っている人間には重要なことなんですよ。

FR　今、靴を作りたいと思ってる若い人、靴業界に入りたいと思ってる若い人がけっこういると思うんですけど。でも、どういう業界か全然わからないと思うんですよ。何かそういう子たちに、「こうすれば良いよ」みたいなことはあります？

久我　本当にやりたい気持ちがあるのであれば、僕の所にはお店がありますから、まず門をたたくことが一番大事かなと思います。もう一つは、デザインの世界から入るんじゃなくて、今の世の中に、これはトゥーマッチですよ、ここは全然足りてないですよっていうことをきちっとよく見ていくこと。僕はこの二つが重要だと思いますね。まず門をたたく勇気。それと、自分が好きなものとかじゃなくて、客観的にこれはもう世の中に多すぎる、これは自分の心は欲してるのに世の中にまだ全然ないなとか、そういうところをきちっと見ていくことが必要だと思います。デザイナーになったときには、ものを作る責任が生まれてきますから。ものを作るということは、失敗すればごみも作るわけですよね。その責任をきちっと見ていくということが大事だと思います。

FR　まず、どこの門をたたくといいですか、お店のですか？

久我　お店もそうですし、工場もそうですね。

FR　工場には若手のスタッフはいるんですか？

久我　いっぱいいますね。

FR　いきなり入れるものですか？

久我　入れるか入れないかは別として、工場はいっぱいありますので、まず見学することは重要なんじゃないかなと思いますね。洋服でも縫製工場があったり、パターンを引く所がありますので。洋服の方は都心に集約されていて、千駄ヶ谷だったり、原宿だったりするので行きやすいんですけど、靴の場合、浅草なので、ちょっと行きにくいですけど。

FR　工場って、小さい所がいっぱいあるんですか？

久我　小さい所から大きい所まで、いっぱいありますね。でも非常に門戸は狭いです。うちの会社も、相当意欲のある人間でないと採れないと思います。それはアパレルでも一緒だと思うんですけど。ただ、まったく門が開かれていないかっていうと、僕はそうじゃないと思いますね。靴を作る運命にある人がいれば、必ず扉は開かれると思います。

FR　学校もあるんですか？

久我　学校もありますね。「エスペランサ靴学院」という学校もあるので。そこに行くことも非常に良いと思います。ただ、日本の学校の場合は、そこから工場にというスタンスが狭いですから、実際に工場とかの門をたたくことも重要かなと思います。

日本の靴メーカーは、これからもっと海外の製品に押されていくので、どんどん狭い市場になっていくと思うんです。ですから、ますます門戸は狭くなってくるので、なりたくても、なかなかなれない業界であるのは事実ですね。工場は減る、市場の商品は海外のものが多くなる。ですから、正直言っちゃうと、あんまりこれから先々薦められる業界かどうかは難しいですね。ただ、日本のメーカーの靴が全くなくなるかっていうと、絶対それはありえないと思うんですね。民族としての骨格の位置ですとか、そういうものはヨーロッパの人とかアメリカの人とは全然違うので。そういう部分がきちっと表に出てきたときに、日本のメーカーは生き残れるんじゃないかなと思います。例えば外反拇趾ってありますけど、この靴を履けば外反拇趾にならないよって言ってる靴でも、絶対外反拇趾になっちゃうんですよ。それがなぜなのかが、日本のメーカーではまだ解明できてないんですね。これはうちも含めてなんですけど。その辺ではまだ市場はあるなという感じですね。

FR　久我さんの次の野望ですね、それは。（笑）



ワンピース：コージ クガ
シューズ：コージ クガ
ファッションのポイント：仕事着
美容室：イマイ（ヤナ）
今ハマッている事：スカウト
好きな音楽：ハウス
RIKA（24才）、販売（コージ クガ）



オーバーオール：クリストファーネメス
シューズ：スリーボタン
バッグ：古着屋さん（大阪）
美容室：地元で
今ハマッている事：自転車こぎ
好きな音楽：カーペンターズ
フミコ（20才）、フリーター

シャツ：クリストファーネメス
パンツ：クリストファーネメス
シューズ：ベリーボタン
バッグ：クリストファーネメス
ファッションのポイント：モハモハ
美容室：WAVE
今ハマッている事：穴ほり
好きな音楽：JAM
ちみっち（20才）、大学生



上着：?
スカート：古着
ファッションのポイント：ロングSK
美容室：ACQUA
今ハマッている事：トランス
好きな音楽：トランス
J、美容師



上着：古着
パンツ：45RPM
シューズ：宇宙百貨に￥50のヒモ
ファッションのポイント：写真とりやすい格好
美容室：大阪の美容院
今ハマっている事：人間ウォッチング
好きな音楽：ミッシェルガンエレファント
ヒロミ・ゴウ（19才）、大学生

ワンピース：フリマで
シューズ：今いっ[illegible]
[illegible]
スカーフ：[illegible]
メガネ：[illegible]
ファッション[illegible]
美容室：[illegible]美容室ーヨロシク
今ハマっている事：[illegible]、人間ウォッチング。
好きな音楽：[illegible]
[illegible]（18才）、[illegible]


KISS
THE FUTURE
WARRIOR
シャツ：ヒスカ
パンツ：MILK



キャミソール（上）：アルゴンキン
キャミソール（下）：スサデ
スカート：試作品（なつとのブランド）
シューズ：ジョージコックス
バッグ：MIHOのくつ袋
ファッションのポイント：試作品ぽく
美容室：PASM（船橋）
今ハマッている事：友達、服
好きな音楽：パンク、スカコア
ミチKO（18才）、文化服装学院


ピーチティー
¥450
¥300
¥200
¥350
ヴィヴィアン ウエストウッド
スカート：共存
シューズ：バッファロー
バッグ



(22才)、美容師





シャツ：フルネルソン
パンツ：近くの店で1000円
シューズ：Bali島
メガネ：もらい物
ファッションのポイント：シャツのドクロ
美容室：ここ数年切ってないです
今ハマッている事：やきにく!!
好きな音楽：PUNK
JiN（26才）、Bail Dancer

ジャージ：裏原宿の店￥2000
シューズ：フィオルッチ
バング：撮影小物をもらった
メガネ：J.P.ゴルチエ
ブレスレット：クロムハーツ
ファッションのポイント：近所仕様
美容室：アパリエ
今ハマッている事：焼き肉とインターネット
好きな音楽：BLANKEY JET CITY
TSOUSIE（28才）、グラフィックデザイナー



カーディガン：as know as
ワンピース：古着
シューズ：ナイキ
帽子：くちゃ
ファッションのポイント：シンプルに
美容室：ACQUA
好きな音楽：心あたたまる…
(23才)、美容師



シャツ：A.P.C.、マージナルグラマー
ファッションのポイント：彼氏が作ったくびわ
美容室：ワタナベ ヘアードレッシング
今ハマッている事：服
好きな音楽：フミヤ
ヒロ（18才）、専門学校生



上着：母の若い頃のモノ
（21才）、フリーター



ベスト：ヒス
シャツ：ナイスクラップ
スカート：イーストボーイ
シューズ：ミホマツダ
バッグ：ビバユー
ファッションのポイント：ヒスのベスト
美容室：ガールズ ラブズ ボーイ
今ハマッている事：うた
好きな音楽：JAM
CHIHARU（20才）、フリーター



---３６９（VIVACEのニューショップ）のオープニングパーティーで



---３６９（VIVACEのニューショップ）のオープニングパーティーで



シャツ：パイル オブ トラッシュ
パンツ：？そこら辺の服屋さん
シューズ：MIHO MATSUDA
バッグ：パイオポリテックス
ファッションのポイント：めーちゃフツウ イケテナイかっこ
美容室：遊人
今ハマッている事：音楽（歌うこと）
好きな音楽：ガンガン系
宮崎佳奈（20才）、フリーター（バンドマン）

大阪 Style ←



ジャージ：自分でリメイク!?
スカート：300円
シューズ：プロケッツ
バッグ：ビューティービースト
ファッションのポイント：らくちん
美容室：K・C・epi
今ハマッている事：CLUB 行く
好きな音楽：HAPPY HARDCORE、ガバ、D&B
アイアイ（19才）、専門学校生



タイツ：自作
リストバンド：自作
ファッションのポイント：ナシ
美容室：自分でやったナレのハテ
今ハマッている事：ナシ
好きな音楽：パンク（80'S）、N.Y.ハードコア
ナオミ（22才）、服屋



服：地元＋ぜんブノーブランド
シューズ：コンバース＋自作
アクセサリー：自作
バッグ：自作＋おうちにあった
ファッションのポイント：ひょうひょう
美容室：地元
今ハマッている事：電子回路ぶんかい
好きな音楽：ゆず
あきら（13才）、中学生

ブラウス：古着
スカート：古着
シューズ：コンバース＋自作
アクセサリー：自作
バッグ：もらいもの＆キキララ
ファッションのポイント：ラリエロおばCHAN
美容室：アニス（地元）
今ハマッている事：電子回路でアクセ作り
好きな音楽：CASCADE
ユカボー（14才）、中学生

シャツ：古着
スカート：ノーブランド
シューズ：ノーブランド
バッグ：ノーブランド
ファッションのポイント：シンプル イズ ザ ベスト
美容室：自分で
今ハマッている事：服作り
好きな音楽：ビジュアル
なっち（14才）、中学生

シャツ：古着
スカート：古着
アクセサリー：自作、その他ノーブランド
ファッションのポイント：あーもっとおしゃれすればよかった
美容室：地元
今ハマッている事：バンド仲間作り
好きな音楽：ビジュアル
あめっこ２世（14才）、中学生





ブラウス：ピンクのおみせ
ワンピース：MILK
シューズ：MILK
バッグ：MILK
ファッションのポイント：ぴんくっ子。
美容室：BOCTOKのかけるちゃん♡
今ハマッている事：こっぱん
好きな音楽：こっぱんちっくなの。
けい（19才）、専門学校生

スカート：ギャルのみせで
シューズ：ピンクのスプレーで花をつけた
バッグ：ビビアン
ファッションのポイント：ギャルスタイル
美容室：たくやっすのがのびた
今ハマッている事：コッパン
好きな音楽：ギターポップ
ち[illegible]（18才）、専門学校生



服：ヒス
シューズ：オールスター
ファッションのポイント：全身ヒス
美容室：自分で
好きな音楽：ギターポップ
高校生2



上着：JP GAULTIER
セーター：ブルータスってとこの，ブランド不明
シューズ：バッファロー
アクセサリー：ネパールのみやげのリング
バッグ：無印良品のランドセル
ファッションのポイント：お上品に
美容室：chikako
今ハマっている事：ライヴ
好きな音楽：COALTAR OF THE DEEPERS
ER&（23才）、編集



シャツ：ブルーマウンテン
パンツ：フリマ
シューズ：レザーコルテッツ
アクセサリー：手作り
ファッションのポイント：[illegible]
今ハマッている事：手作りア[illegible]
好きな音楽：80's ダンスホー[illegible]
せいすけ（19才）、専門学校生

ワンピース：[illegible]
ブラウス：近所のお店
シューズ：忘れました
王冠：自分で作った
ファッションのポイント：あんまり深く考えていない
美容室：自分で
今ハマっている事：自分で作る
好きな音楽：うるさいうたとしずかなうた
もとみ（20才）、写真[illegible]


BALZAC
SOBUT
WRATH
AND
THE HATE HONEY
CLUB QUATTRO 3NIGHT
心斎橋クラブクアトロ
名古屋クラブクアトロ
渋谷クラブクアトロ



マクドに行ってるあいだに撮影が終わっちゃったんです。



シャツ：弟のものです
パンツ：神戸の古着屋で
シューズ：もらいもの
ファッションのポイント：ヘアバンド（うさぎみたいな）
美容室：ヅラ
今ハマッている事：ヅラ
好きな音楽：ドラゴン・アッシュはまってます
ワカエカナ（23才）、販売員
---MIKE STOREで

海外ストリートファッション情報誌

STREET

9 月28日発売

FRUiTS

次号予告
10月23日
発売予定
内容未定

Fruitsは月刊です。
毎月23日に発売です
（一部、地域によって違います）。

全国ローカル情報
募集
（ここに来て、とか
おしゃれスポットはここ、とか
オモシロイお店がある、とか
取材のとき食べるおいしいお店は
ここ、みたいな）

バックナンバー
No.1〜14は、
売り切れ
となりました。
ごめんなさい。

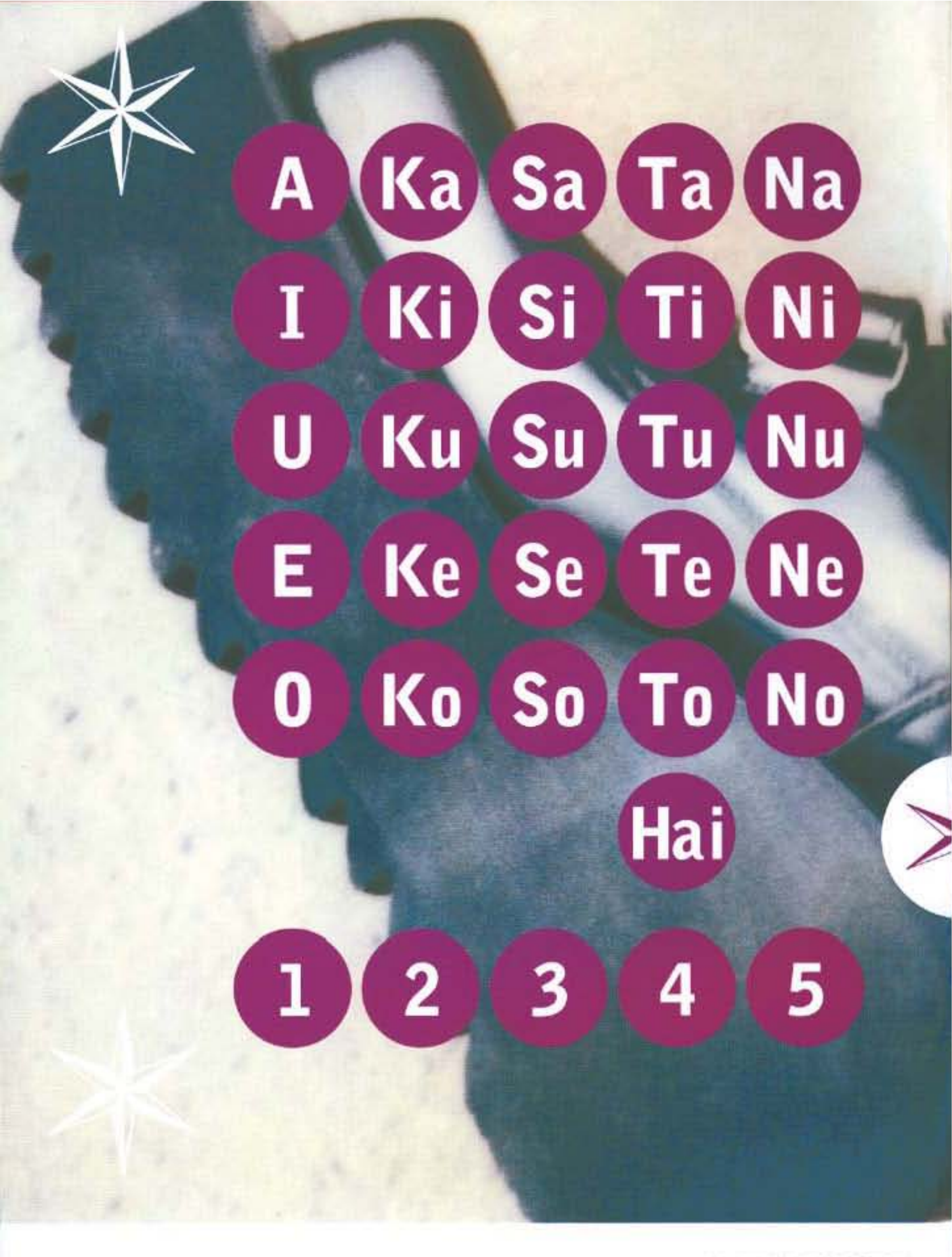
こんなものが流行ってるとか、
こんなことに凝ってるとか、
今これに注目とか、
ニュース募集
（会社の方、デザイナー等の方々へ：
プレスリリース等いただいておりますが、
編集企画が合った場合にご連絡させて
いただきます。ご了承ください。）

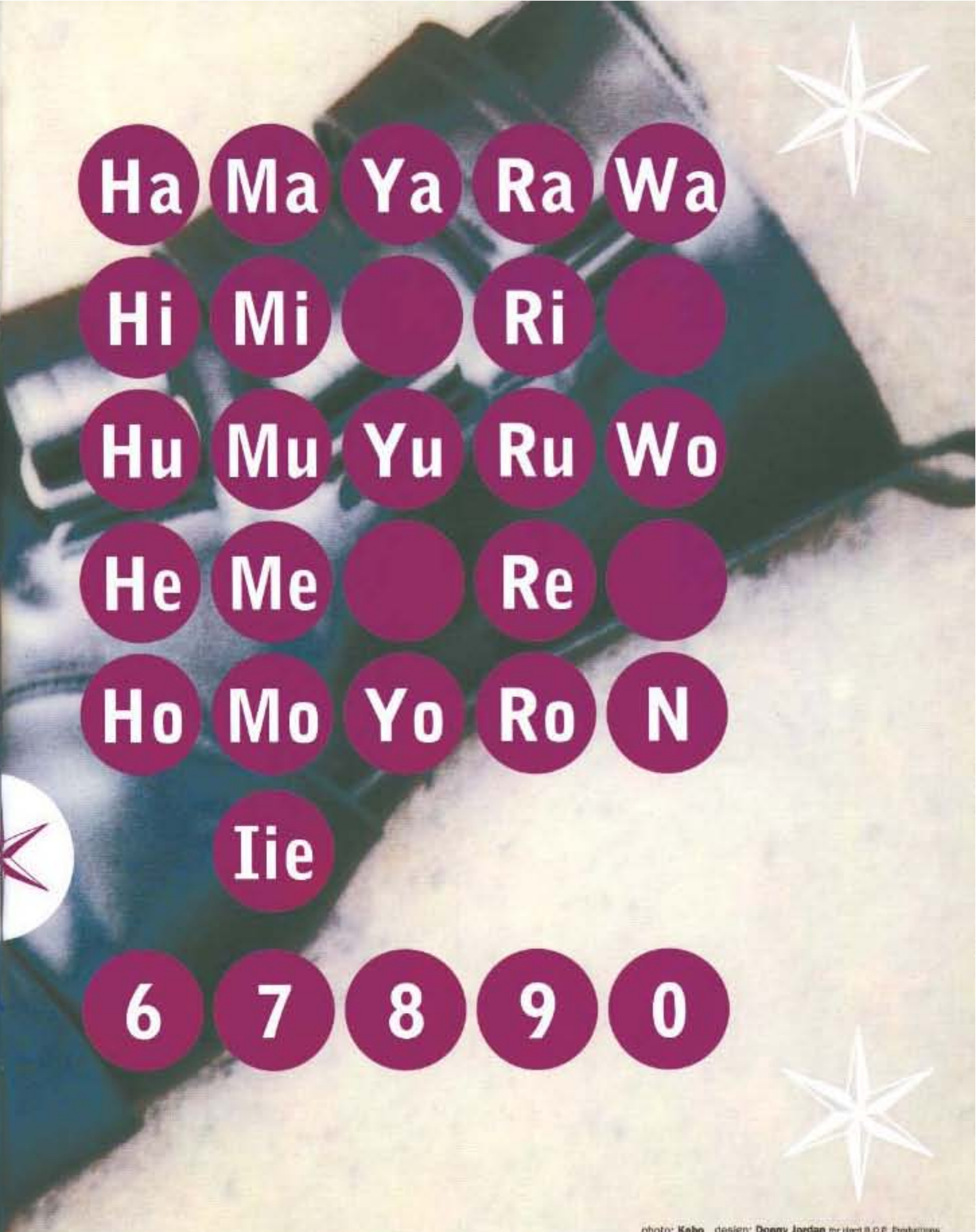
アンケートは、
自己申告をそのまま
掲載していますので、
まちがっていることも
あります。

こんなページを
作ってほしい
こんな企画を
してほしい
募集

編集部へのお便り等は、
住所をまちがえないよう
気をつけてね。
（恵比寿西です。）

載っている服は、
今販売していないこと
の方が多いと思います
ので、メーカーに
問い合わせるときは、
ご注意ください。


A
Ka
Sa
Ta
Na
I
Ki
Si
Ti
Ni
U
Ku
Su
Tu
Nu
E
Ke
Se
Te
Ne
O
Ko
So
To
No
Hai
1
2
3
4
5



Ha Ma Ya Ra Wa
Hi Mi Ri
Hu Mu Yu Ru Wo
He Me Re
Ho Mo Yo Ro N
Iie
6 7 8 9 0
photo: Kabo design: Donny Jordan for Hard B.O.P. Productions